

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「シェール関連株オープン」は、このたび、第24期の決算を行いました。

当ファンドは、シェール関連株マザーファンドを通じて、米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第24期末(2025年4月9日)

基準価額	9,872円
純資産総額	1,725百万円
第24期	
騰落率	△ 12.2%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# シェール関連株オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2024年10月10日～2025年4月9日

## 交付運用報告書

第24期(決算日2025年4月9日)

**SBI** 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

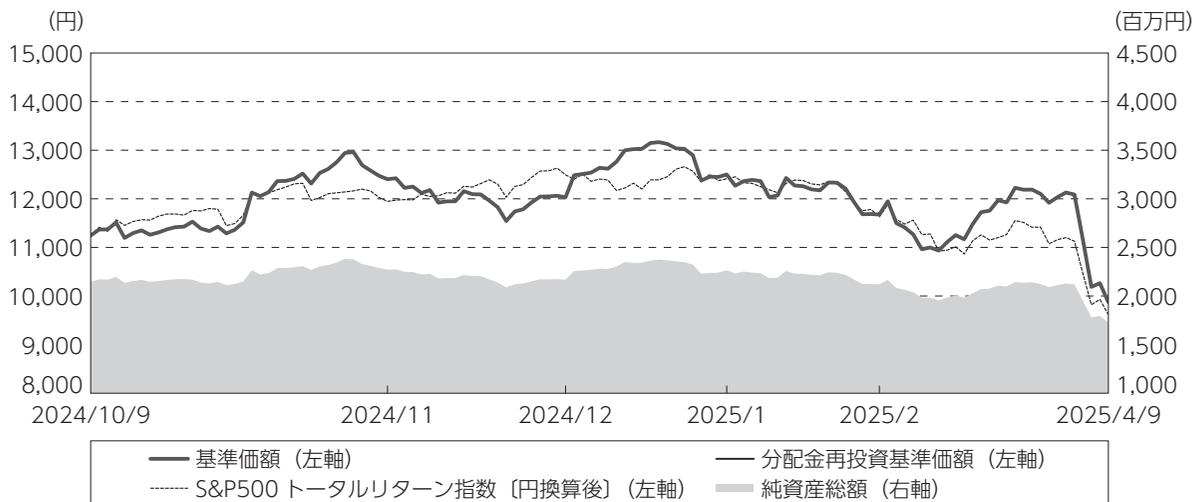
■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年10月10日～2025年4月9日)



期 首：11,245円

期 末：9,872円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 12.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、S&P500 トータルリターン指数 [円換算後] です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値を為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。(以下同じ。)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2024年10月9日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「シェール関連株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・天然ガスの貯蔵や輸送に携わる企業の株価上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ウィリアムズ・カンパニーズやEQT、ナショナル・フュエル・ガスなどの上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・総合石油・ガス株や石油・ガス探査・開発株の株価下落がマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、エクソンモービルやオキシデンタル・ペトロリアム、ダイヤモンドバック・エナジーなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場では、米ドルが円に対して下落（円高）したことがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年10月10日～2025年4月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	102 ( 46 ) ( 53 ) ( 3 )	0.850 ( 0.384 ) ( 0.439 ) ( 0.027 )	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	7 ( 7 )	0.059 ( 0.059 )	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 ( 0.001 )	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 )	3 ( 3 ) ( 1 )	0.028 ( 0.021 ) ( 0.007 )	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	112	0.938	
期中の平均基準価額は、11,993円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

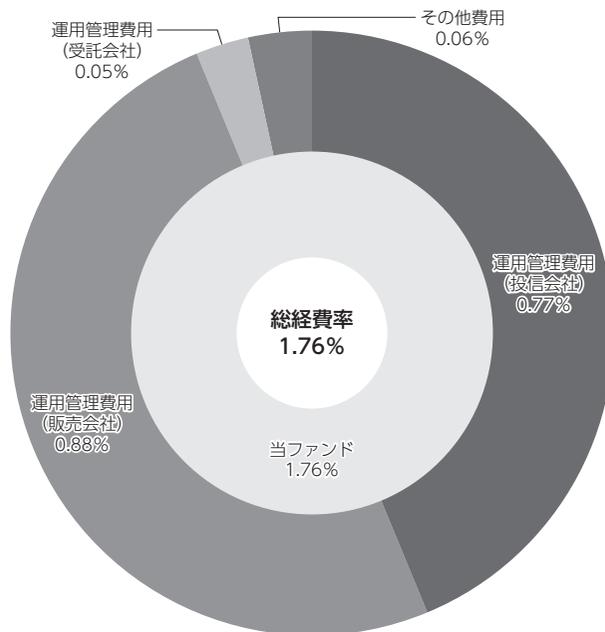
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

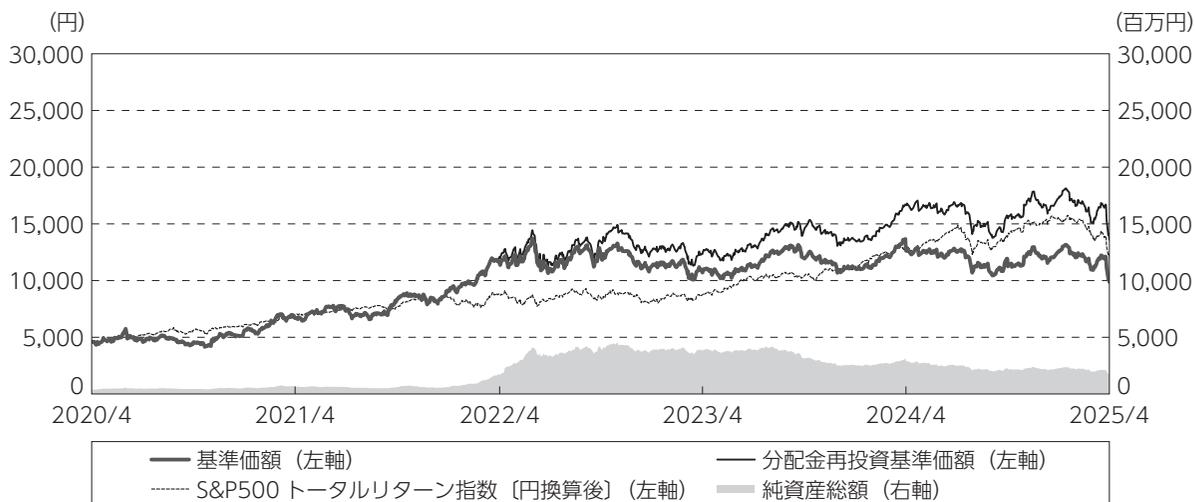
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年4月9日～2025年4月9日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) S&P500 トータルリターン指数〔円換算後〕は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年4月9日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年4月9日 期初	2021年4月9日 決算日	2022年4月11日 決算日	2023年4月10日 決算日	2024年4月9日 決算日	2025年4月9日 決算日
基準価額 (円)	4,587	6,682	11,503	10,703	12,644	9,872
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	600	1,100	1,700	500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	45.7	81.1	2.1	35.0	△ 18.5
S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕騰落率 (%)	—	51.9	26.7	△ 1.0	47.5	△ 7.1
純資産総額 (百万円)	381	656	1,702	3,807	2,902	1,725

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

**投資環境**

(2024年10月10日～2025年4月9日)

北米株式市場は、期初から2024年末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における追加利下げ期待を背景に株価の上昇基調が続きました。11月上旬の米国大統領選挙では、大統領職と上下両院の多数派を共和党が占める「トリプルレッド」の結果になったことを好感する動きが見られました。2025年に入ってから高値圏でもみ合う動きが続きましたが、2月中旬以降はトランプ政権の関税政策への懸念から株価は下落に転じました。4月初旬にはトランプ政権が発表した相互関税政策の内容を受けて、世界的な景気後退への懸念が高まったことから一段安の展開となりました。

為替（米ドル／円）は、期中に上昇（米ドル高／円安）する展開となりました。期初から2024年末にかけては、日銀が追加利上げに踏み切る可能性は低いとの見方が強まったことから、米ドル／円は概ね上昇する動きとなりました。2025年に入ってから、米国の景気悪化懸念が高まるなか、日銀の追加利上げ観測が強まったことから、米ドル／円は期末にかけて下落（米ドル安／円高）しました。

原油価格は、期初から2024年末にかけてはもみ合って推移しました。2025年1月に入ってから、米国での寒波の影響や原油在庫の減少を受けて上昇した後、米国での原油生産量が増加すると見方が広がり、下落に転じました。4月初旬にはトランプ政権による相互関税の発表を受けて、世界的な景気後退懸念から一段安となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2024年10月10日～2025年4月9日)

**<シェール関連株オープン>**

「シェール関連株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね高位を維持しました。

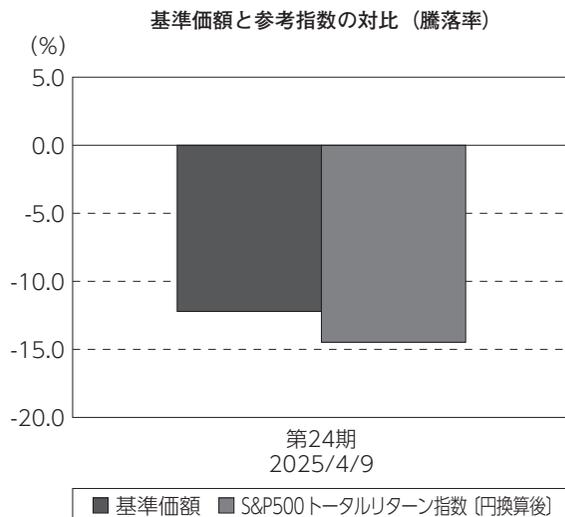
**○シェール関連株マザーファンド**

株式組入比率は、概ね高位で推移させました。運用状況につきましては、財務体質の強固な石油・ガス貯蔵・輸送株を高位にウェイト付けしたポートフォリオで運用しました。投資行動としては、好調な業績が期待される石油・ガス貯蔵・輸送株や総合石油・ガス株の買付けを行い、ウェイトを引き上げました。一方、石油・ガス探査・開発株を売却し、ウェイトを引き下げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月10日～2025年4月9日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S&P500トータルリターン指数【円換算後】です。

## 分配金

(2024年10月10日～2025年4月9日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第24期
	2024年10月10日～ 2025年4月9日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,390

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

北米株式市場は、不安定な動きになると想定します。関税引き上げなど、トランプ政権の政策の先行き不透明感から、市場の変動性が高まると見込まれます。また、米国景気の先行きやインフレの動向に市場の注目が集まると考えます。2025年後半以降は、米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げへの期待が、株価の下支え要因になると想定します。

原油価格については、不安定な動きを想定します。石油輸出国機構（O P E C）加盟国とロシアなどのO P E C非加盟の産油国で構成される「O P E Cプラス」による自主減産の縮小への懸念が原油価格の下押し圧力になると考えられます。一方、中国の景気刺激策が価格上昇要因になると予想します。

### (運用方針)

#### <シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」を通じて、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。「シェール関連株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、高位を維持する方針です。

#### ○シェール関連株マザーファンド

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。業種としては、石油・ガス探査・開発株や石油・ガス貯蔵・輸送株を高位にウェイト付けします。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## お知らせ

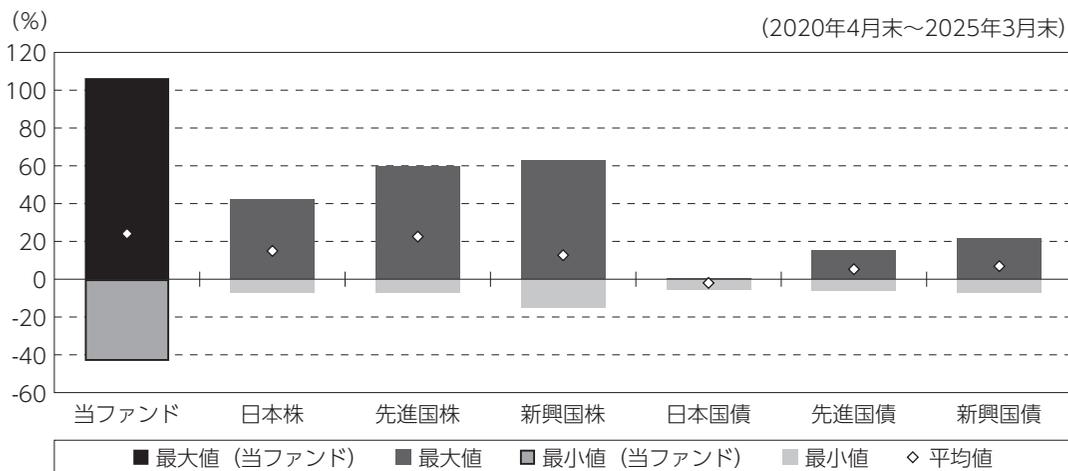
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)  
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年4月25日から2045年4月7日までです。	
運用方針	シェール関連株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	シェール関連株マザーファンド	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場（上場予定を含みます。）株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	シェール関連株マザーファンド	投資にあたっては、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に着目します。ポートフォリオの構築にあたっては、投資環境および企業の業績動向、成長性等を勘案して行います。
分配方針	毎年4月9日および10月9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	106.4	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 43.2	△ 7.1	△ 7.4	△ 15.2	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	24.1	14.9	22.5	12.7	△ 2.0	5.3	6.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年4月から2025年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

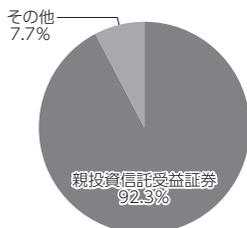
## 組入資産の内容

(2025年4月9日現在)

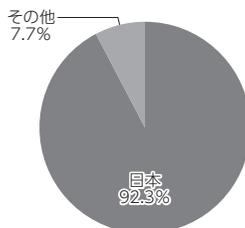
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第24期末
シェール関連株マザーファンド	92.3%
組入銘柄数	1銘柄

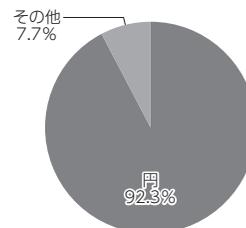
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

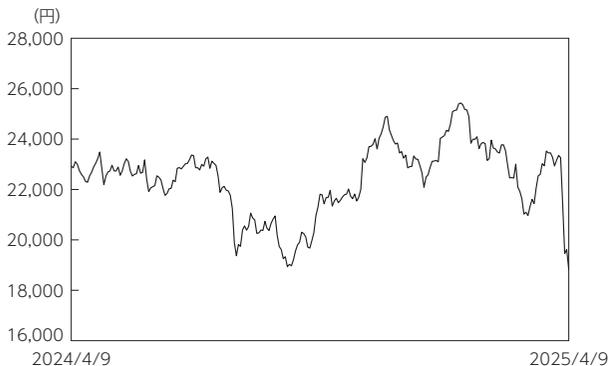
項目	第24期末
	2025年4月9日
純資産総額	1,725,707,158円
受益権総口数	1,748,016,035口
1万口当たり基準価額	9,872円

(注) 期中における追加設定元本額は170,561,790円、同解約元本額は329,356,439円です。

組入上位ファンドの概要

シェール関連株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年4月10日～2025年4月9日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	43 (43)	0.192 (0.192)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	11 (11) (0)	0.050 (0.050) (0.000)
合計	54	0.244

期中の平均基準価額は、22,462円です。

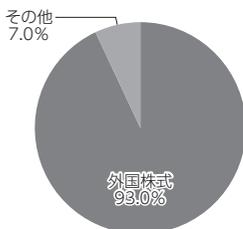
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

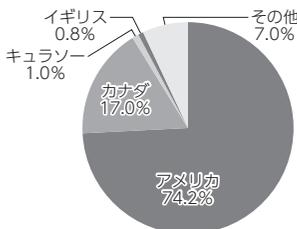
(2025年4月9日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 CHEVRON CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	4.7%
2 TARGA RESOURCES CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	4.7%
3 EXXON MOBIL CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	4.6%
4 WILLIAMS COS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.9%
5 ONEOK INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.1%
6 KINDER MORGAN INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.1%
7 SUNCOR ENERGY INC	エネルギー	カナダドル	カナダ	2.8%
8 DT MIDSTREAM INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.7%
9 CHENIERE ENERGY INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.4%
10 PEMBINA PIPELINE CORP	エネルギー	カナダドル	カナダ	2.4%
組入銘柄数	58銘柄			

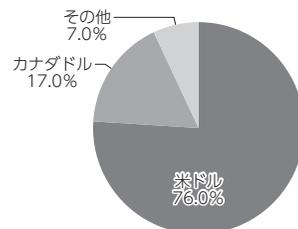
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。